

# 美しい海岸線を守る

下新川海岸の侵食は海岸線の後退で、家屋、農林水産業、交通に大きな影響を及ぼしてきました。国では昭和 31 年に海岸法を公布。それまでの対策工事は富山県が実施していましたが、これ以降重要な工事を国が施行することになりました。下新川海岸は昭和 32 年から国直轄で調査を開始。35 年には直轄海岸に指定されて、以後約 60 年にわたる保全工事により、海岸線の大部分に堤防が築かれ、海岸線の後退をくい止めました。



昭和 35 年 朝日町東草野地先



昭和 34 年 入善町春日地先



昭和 36 年 入善町下飯野地先



現在の朝日町東草野地先



現在の入善町春日地先



現在の入善町下飯野地先

## ① 生地付近

昭和 22 年頃の生地鼻付近に見られた砂浜は、年々侵食され、現在ではほとんど残っていません。生地地先は海底勾配が非常に急峻で従来の保全施設の設置が困難な場所です。平成 20 年の高波災害を受け侵食対策として新型突堤、有脚式離岸堤等を設置し侵食防止対策を行っています。



昭和 22 年度撮影



昭和 50 年度撮影



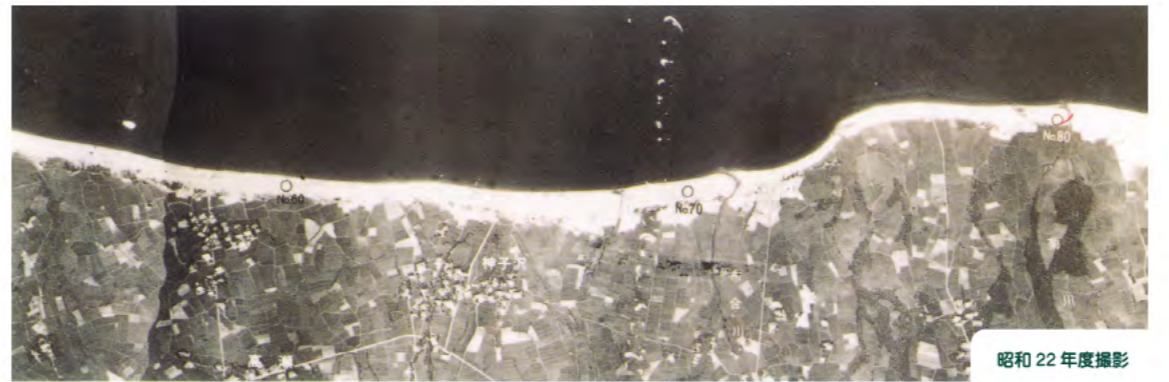
平成 13 年度撮影



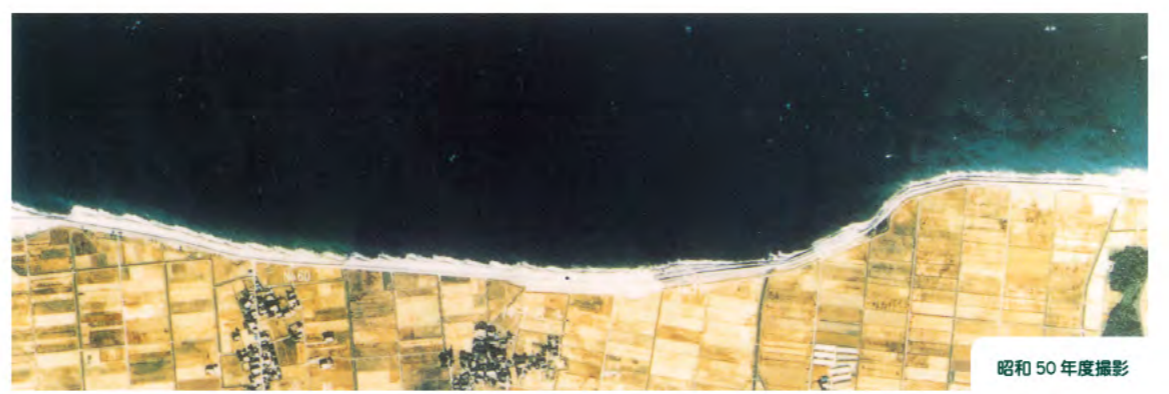
平成 27 年度撮影

## ② 下飯野付近

下飯野地先付近は、昭和 22 年当時の砂浜が長年の侵食により平成 13 年時点では見られません。現在は、侵食対策として離岸堤を多数施工し侵食防止対策を行っています。



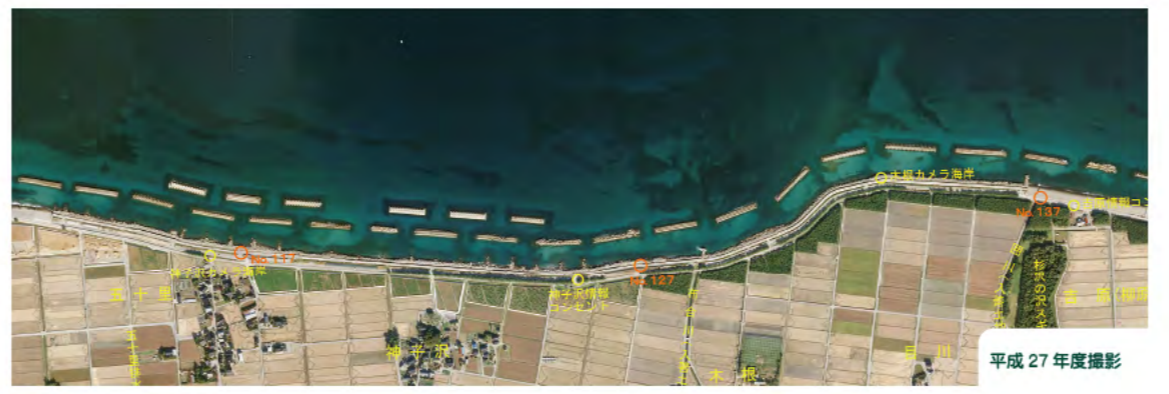
昭和 22 年度撮影



昭和 50 年度撮影



平成 13 年度撮影



平成 27 年度撮影

## ③ 吉原付近

吉原地先付近は、昭和 22 年当時に比べ約 50m ~ 60m 侵食を受け、過去の砂浜をうかがうことはできません。今から 100 年前の海岸線は現在の位置より 150m 程沖合にあったと推測されます。現在は、離岸堤や新型離岸堤による侵食対策を施工しており、「トンボロ」といった砂州が海岸線に着いています。



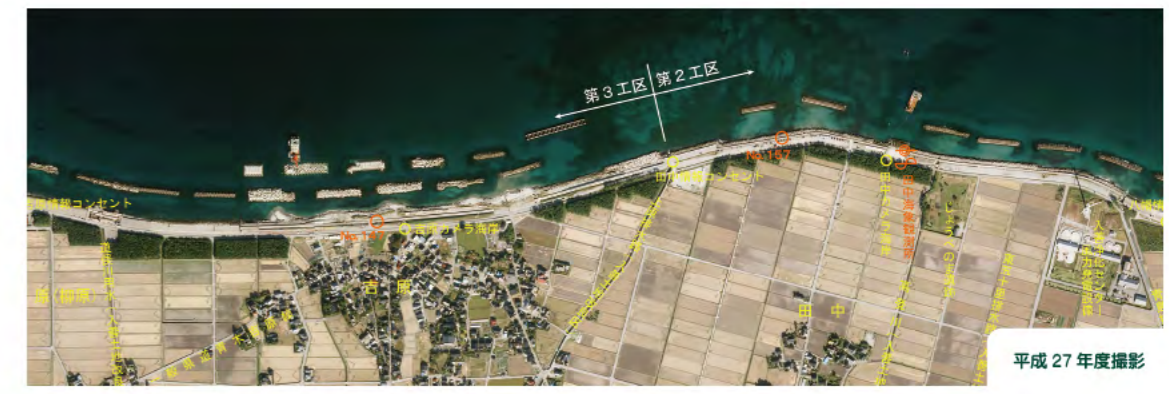
昭和 22 年度撮影



昭和 50 年度撮影



平成 13 年度撮影



平成 27 年度撮影

# 周辺ガイド



杉沢の沢スギ

## 入善町

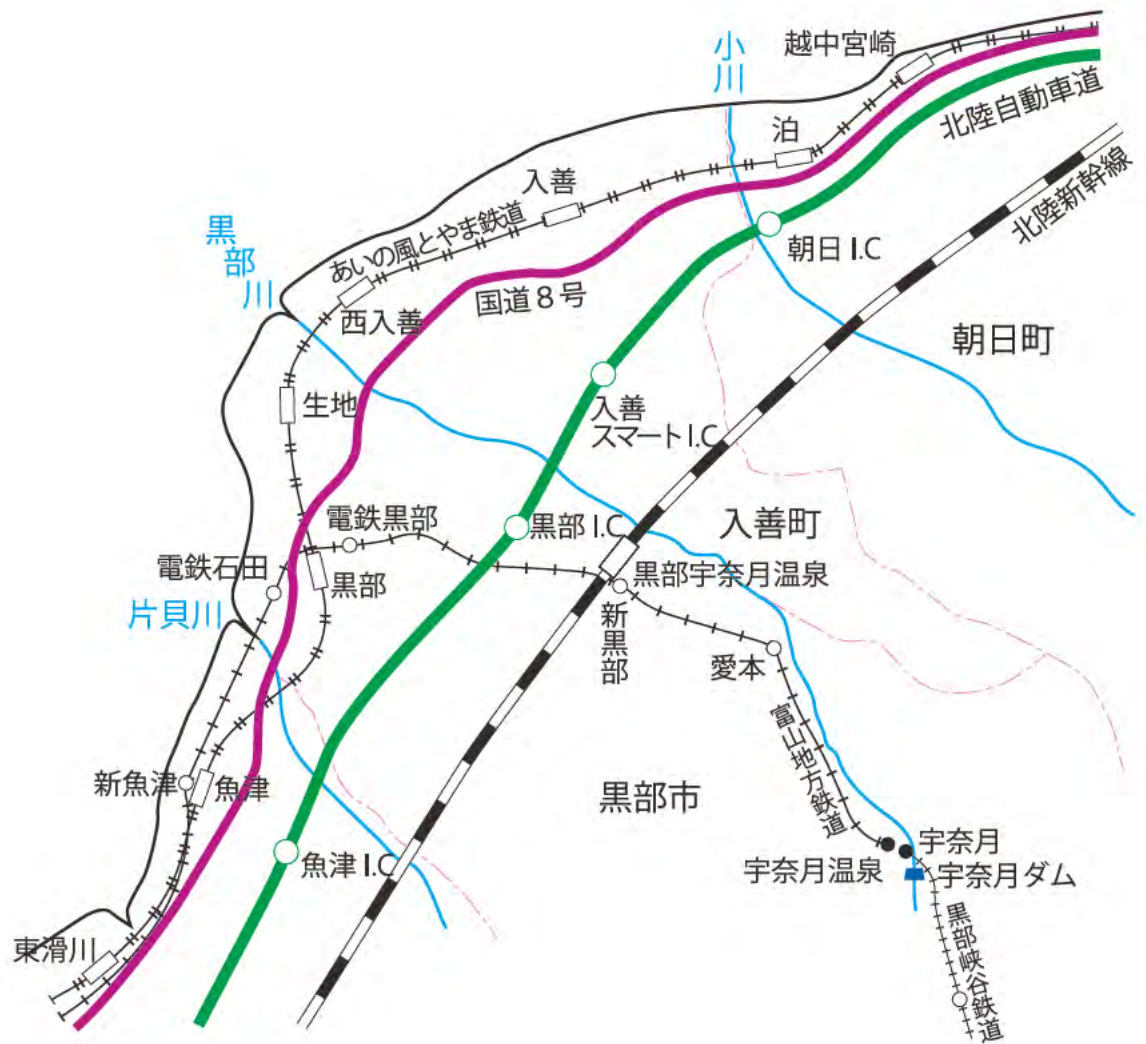
重さ 15 kgもある入善ジャンボ西瓜とコシヒカリなどの良質米産地として知られています。平安時代の荘園跡のじょうべのま遺跡、世界最古の海底林、名水百選認定の黒部川扇状地湧水群の一つであり、国の天然記念物に指定されている杉沢の沢スギがあります。



夏のヒスイ海岸

## 朝日町

朝日岳・白馬岳などの北アルプスと日本海が会おうヒスイ海岸は、ヒスイの原石が拾える海岸として有名です。また、早場米の単作地帯で、耕地面積のほとんどが水田になっています。



神明町の共同洗い場

## 黒部市

名水百選認定の黒部川扇状地湧水群、日本の夕日百選認定の黒部の海岸、生地の海上花火大会、マリンレジャーを楽しめる石田浜などがあります。また、四季折々の峡谷美が続く黒部峡谷と秘境の温泉を結ぶトロッコ鉄道が有名で、日本屈指の急流河川黒部川の豊富な水を利用した水力発電が盛んです。

国土交通省 北陸地方整備局

## 黒部河川事務所

〒938-0042 富山県黒部市天神新173  
TEL (0765) 52-1122 (代)

## 入善海岸出張所

〒939-0642 富山県下新川郡入善町上野12011の1  
TEL (0765) 72-0130 (代)

ホームページ <http://www.kurobe.go.jp/>

